

SS探究Ⅰ M-S講座③

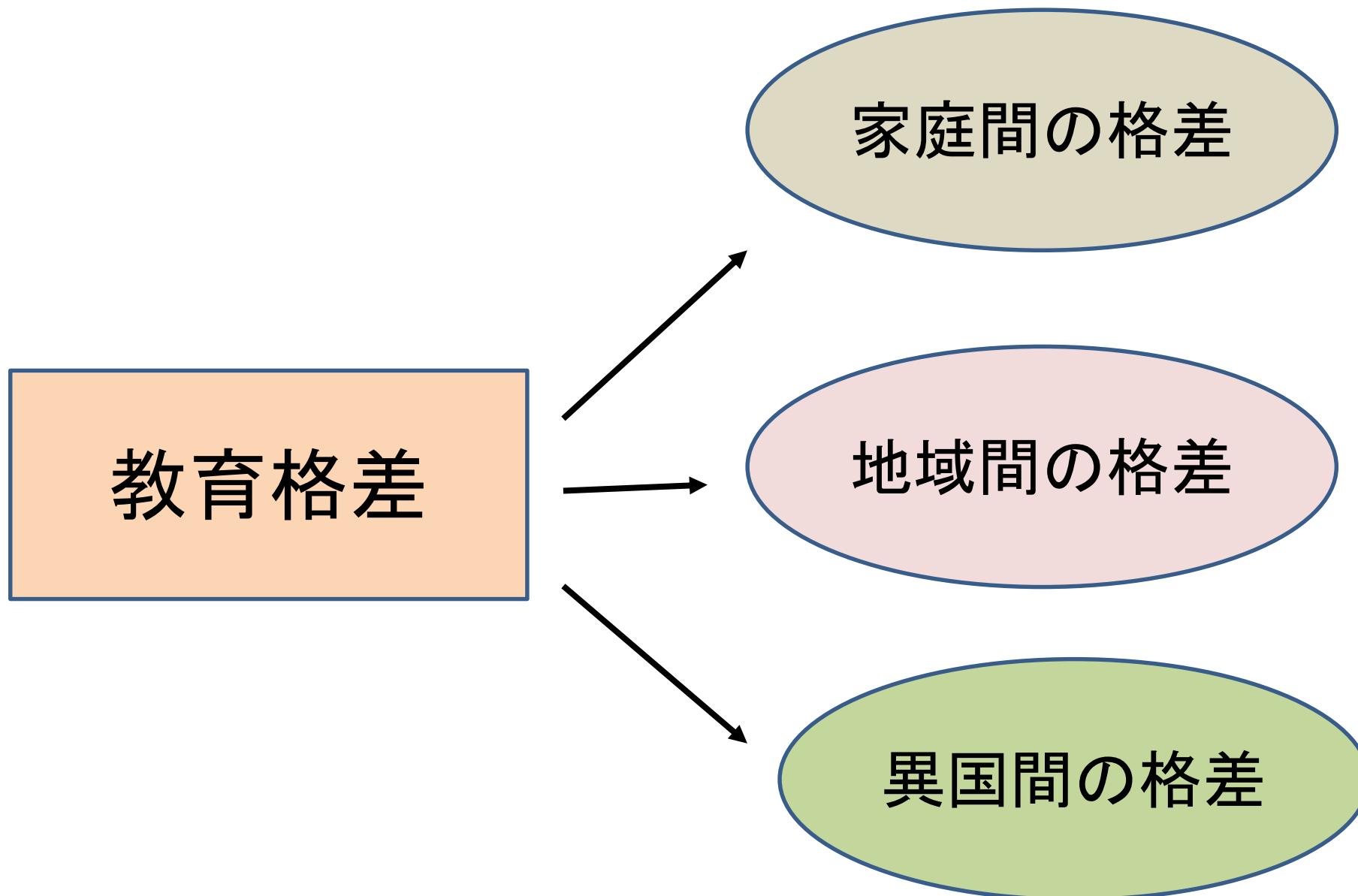
社会科学編第2週

公的データから
「教育格差問題」を考える

本時の目的：課題研究の過程に沿って、
公開されているデータの利活用法を理解する。

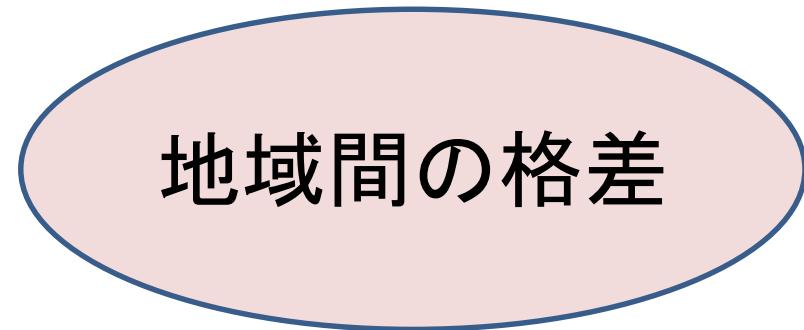
皆さんに質問です。

「教育格差」とは、
どのような社会問題？



それぞれの格差は、なぜ生じるのでしょうか？

例えば課題研究で、
「地域間格差問題」をテーマにやってみたいと考えた場合…



住んでる地域によって、
受けられる教育の質が異なる

手順 1
リサーチクエスチョン（問い合わせ）をたてる

地域間の教育格差は、
なぜ生じるのだろうか？

リサーチクエスチョン（問い合わせ）
→課題を理解し、研究を始める動機となる問い合わせのこと

例えば課題研究で、
「地域間格差問題」をテーマにやってみたいと考えた場合…

地域間の格差

住んでる地域によって、
受けられる教育の質が異なる

手順2 課題を正確にしっかり理解する。

地域間の教育格差の原因は何だろう…

都道府県や家庭の経済力の差だろうか？

教育環境の違いがあるのでは？

学校の現状は地域ごとに同じなの？

塾・大学？…

だとしたら、どんな資料があれば答えを
明確にできるでしょう

課題研究で、「地域間教育格差」をやってみよう…

地域間教育格差の原因を探るために必要な資料は？

都道府県や家庭の経済力の差だとしたら

教育環境の違いだとしたら

学校の現状だとしたら

塾や大学の問題だとしたら

班で話し合い、
意見を出してください。

課題研究で、「地域間教育格差問題」をやってみよう…

地域間教育格差の原因を探るために必要な資料は？

都道府県や家庭の経済力の差

例 1人当たりの県民所得、事業所数、若年層の人口

教育環境の違い

例 人口集中地区の割合、教育費用への平均支出額、学校設置数

学校の現状

例 教育のデジタル化普及率、生徒/教師数、小学校～高校設置数

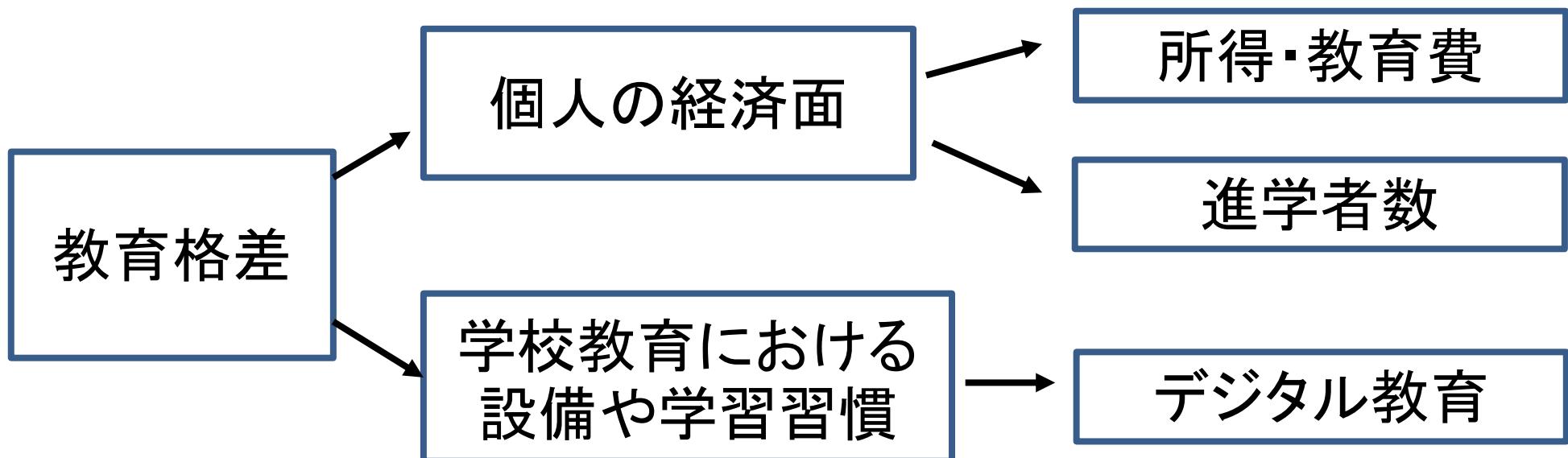
塾や大学

例 通塾生割合、大学設置数、高校卒業の進学者数

課題研究で、
「地域間格差問題」をテーマにやってみようと思った場合…

手順3 研究を具体的に進める**仮説**を設定する。

仮説：地域間の教育格差は、
「〇〇〇〇〇〇〇」が主な原因である。



都市と地方を差を比較してみようとか、地域の市町村間の違いを比較してみよう、などと、発想できれば「課題研究」のはじまりです。

課題の現状や原因を正しく理解しないと、課題解決は図れない。

⇒そのためには、

根拠のある情報をもとに、正しい分析と考察が必要



適切な公的機関の統計データの引用

RESAS(内閣府地域経済分析システム)、

e-Stat(政府統計の総合窓口)、



本時

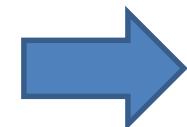
SSDSE(独立行政法人統計センター)などの
統計資料を活用する。

例えば、このような公開資料が入手できます。

知っておくと便利

SSDSE

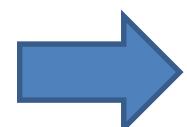
(独立行政法人
統計センター)



1人あたりの県民所得
教育費(2人以上世帯の
月間消費平均支出額)
高等学校卒業者の大学等への進学数
事業所数(教育・学習支援業)
大学数

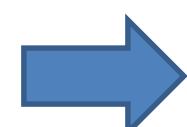
e-Stat

(政府統計の
総合窓口)



人口集中人口地区の人口
デジタル教科書の整備率
普通教室の電子黒板整備率
高等学校数
高等学校卒業者の進学率

国立教育政策
研究所



全国学力・学習状況調査結果

独立行政法人統計センター

「SSDSE」で検索し、
どんなデータが公開されて
いるか見てみましょう。

Microsoft Edge|最新情報 × 過去に公開したSSDSE|独立行政法人 統計センター +

https://www.nstac.go.jp/use/literacy/ssdse/past/?doing_wp_cron=1695461421.1091380119323730468750

独立行政法人
統計センター

文字サイズ 中 大 日本語 English Googleサイト内検索 検索

統計センターについて 統計をつくる 統計を活かす 統計を支える 統計技術 採用案内

統計を活かす

過去に公開したSSDSE

公的統計の二次的利用サービス

- 調査票情報のオンライン利用
- 匿名データの利用
- オーダーメード集計の利用
- 学術研究機関等との連携
- イベント情報
- 一般用ミクロデータの利用
- LISのデータベース利用

統計リテラシー向上のために

- SSDSE(教育用標準データセット)
- SSDSEの利活用事例

過去に公開したSSDSE

- 統計データ分析コンペティション

SSDSE(教育用標準データセット)からダウンロードしてください。

過去に公開したSSDSEの一覧を掲載しています。

名称	内容
SSDSE-市区町村 (SSDSE-A)	1741市区町村×多分野のデータ項目
SSDSE-県別推移 (SSDSE-B)	47都道府県×12年次×多分野のデータ項目
SSDSE-家計消費 (SSDSE-C)	全国・47都道府県所在市×家計消費のデータ項目
SSDSE-社会生活 (SSDSE-D)	全国・47都道府県×男女別×社会生活のデータ項目
SSDSE-基本素材 (SSDSE-E)	全国・47都道府県×多分野のデータ項目

https://www.nstac.go.jp

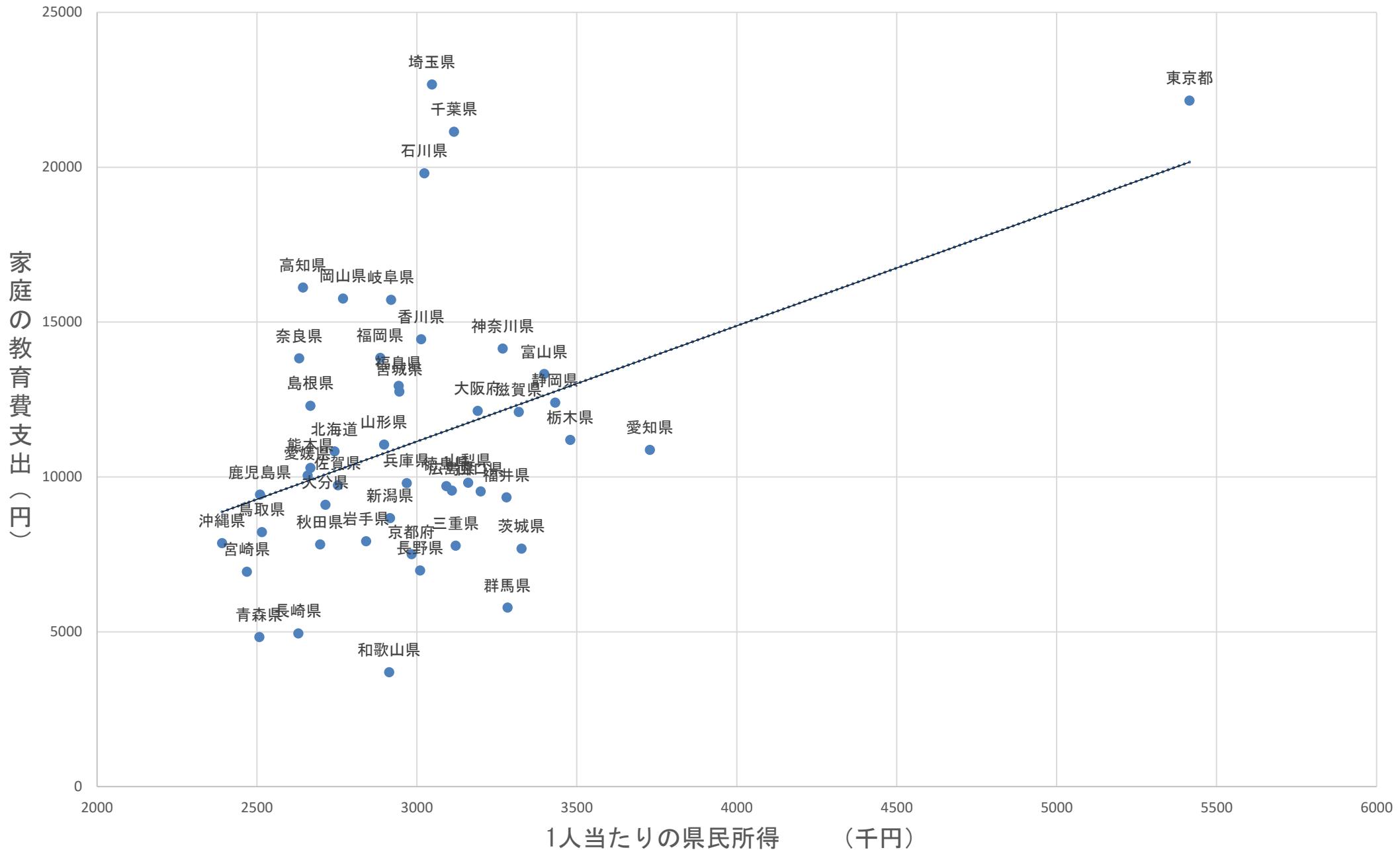
ここに入力して検索

18:30 2023/09/23

Excelのファイルをダウンロードして閲覧します。

参考

県民所得と家庭の教育費の関係



まとめ

課題研究のプロセス

1 【リサーチクエスチョン（問い合わせ）】

地域間の教育格差は、なぜ生じるのだろうか？

2 【課題の正確な理解（現状を正しく知る）】

原因を探るために必要なデータは

3 【仮説立案】

各県の県民所得に格差があり、

それにより教育費支出が困難になるからだ

4 【検証】

2～4に根拠ある公開データを活用する